今月号の編集を行っている今の時期は，花粉症の季節真っ最中です。これまでは他人事でしたが，昨年，はじめて花粉症になり，こんなに辛いものだとは思ってもみませんでした。今年は，春先から，花粉防止用のメガネやマスクをつねに着用していたおかげか，昨年ほどひどくはなく，予防の大切さを痛感しているところです。もっとも，先輩諸氏によると，症状の激しさは年によっても随分異なるとのことなので油断大敵ではあります。

今月は，鉄道のヒューマンユーマンサイエンスと題し，鉄道現場で働く人やお客様のより一層の安全性向上や快適性向上に関する取り組みについて紹介しました。社会の動向や技術の急速な進展にともない，鉄道のシステムやそれを支える技術も大きく進化を遂げようとしています。同時に，働く方々やお客様も，時代や環境の変化にともない，行動のあり様や感じ方が変わることもあります。システムや環境と人との相互関係に切り込んでいく鉄道のヒューマンサイエンスも，新たな視点での取り組みがますます必要になるものと思われます。このような観点から各記事を読まれるのも面白いかもしれません。

次号は，鉄道の低コスト化を実現する技術について特集します。軌道をはじめとして，構造物や信号分野など，鉄道総研における低コスト化に関する研究開発について紹介しますのでご期待ください。（N. M.）